



西念寺だより 如月号



平成30年2月10日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027 0774-63-2912

人との関わりの中で—感動の種を見逃さない

三日月は そろぞ寒は さえがえる (冴返る)

小林一茶



暦の上では春なのに、ぶり返す(冴返る)厳しい寒さの中で詠まれた一茶の俳句のように、春の到来はまだまだ遠いですが、寒の明けを迎えた陽光に春の兆しを感じられる今日この頃です。

さて、昔ある高級な和菓子を扱う老舗でのお話を紹介します。ある日、とても見窄らしい身なりをした一人の男の人が、饅頭を一個だけ買いに来ました。値段の高い上菓子だけを扱う店で、普段はそういう人が饅頭を買いにくるということはとても珍しいことでした。その店の小僧さんは、饅頭一個を紙に包みはしたものの、相手が相手だけに渡すのを少しためらっていました。すると、それを見ていた主人が、小僧さんに声をかけました。「ちょっとお待ち、それは私がお渡ししよう」そう言って、饅頭の包みを自らその人に丁寧に手渡し、代金を受け取ると「ご来店いただき誠にありがとうございます」と、深々と頭を下げたのです。



男が出ていった後で、小僧さんが不思議そうに尋ねました。「ご主人様、今日に限ってどうしてわざわざご自身でお渡しになったのですか？」

「確かにいつもなら、番頭さんやお前たちにやってもらっている。だから、不思議に思うのも無理はない。なるほど、いつも当店をごひいきにしてくださるお客様は有り難い。けれど、今日のお客様は違うのや」

「どう違うのですか？」

「いつもうちをごひいきにしてくださるお客様は、裕福なお方が多い。だからうちにこられるのに何の不思議もない。ところが今日のあのお客様は、一度うちの饅頭を食べてみたいと思って貴重な少ないお金を使って買ってくださったのだ。あの方に何か嬉しいことがあって、家族で分け合って食べてくださるのかも知れない。これほどありがたいお客様はないではないか。そんなお客様に対しては、主人である私が自分でお渡しするのが当然だ。それが商売人の道というものだ。」

この話はパナソニックの創業者、松下幸之助氏の回顧録に載っており、このようなところに感銘を味わうのが商売人としてだけでなく、人としての本当の姿なのだと自らの心の糧にしたと綴られています。

みすばらしい身なりの人が店に入ってきた、それを迷惑だという見方もあるでしょう。或いは、お金を払っているのだから他のお客様と同じだという見方もできます。しかし、この主人はさらに一步踏み込んで普段の客以上に、「ありがたい」と感動を覚えている、その心の豊かさに感銘を受けられたのだと思います。

人同士の関係が益々希薄になっていく現代、感動が少なくなったということをよく耳にしますが、本当はつい見過ごしているだけで感動の種はいたるところにあるということではないでしょうか。

お寺にも毎日多くの来客があり、様々なお問い合わせのお電話もいただきます。お一人お一人の想いをしっかりと受け止め、より親しみを感じていただけるお寺を目指して参りたいと思います。

本堂の建築以来大きな行事が続きましたが、最後の五重相傳もあと十ヶ月後に迫って参りました。檀信徒各位の一層の御協力を宜しくお願い申し上げます。 **裏面に続く**



【佛教婦人会新年会の様子から】

新年明けて間もない1月9日に佛教婦人会様の恒例新年会が行われました。

今回は大扇様を会場に小林喜代司市議員様、大崎勲総代長様を御来賓にお迎えし、多くの会員様に御参加いただき、盛大に行われました。

来年も多くの方々の御参加をお願い申し上げます。また、檀信徒の皆様への御入会を心よりお待ちしております。御入会いただけます方はお寺まで御一報いただくと有り難く存じます。



【五重相傳会受者第2次募集のお知らせー別紙プリントでも御案内しています】

既に御案内しておりますが、「五重相傳」とは、浄土宗の行事や儀式のなかで最も重要とされる法要で、浄土宗のお念仏を分かりやすく、詳しく五段階に分けて奥義をお伝えるものです。

当初、本堂の大きさから120名の定員を予定しておりましたが、現時点で約150名の方からお申し込みいただき、盛大に開筵させていただくことが可能となりました。一方で、予定を上回るお申し込みをいただき、本堂だけでは大変手狭となったことから本堂の掛出工事を行うことになり、かなり余裕が生まれます。そこで、新たに受者の追加募集を行うこととなりました。次回は2040年頃の開筵になると思います。お仕事等との関係で参加が難しく、まだお申し込みをいただいてない方等、できる限り御要望にお応えして参りたいと存じますので、是非ともこの機会にお申し込みいただきたく、宜しく願い申し上げます。

御参加いただけます方は、既にお配りしております要項の参加申込書をお寺にお届けいただくか、担当役員様までお届けください。追って、詳細案内をお届けさせていただきます。

また、五重相傳では毎日回向師さんの発声により、御先祖やご縁のありました先亡霊位の追善供養を大勢の御寺院や受者全員によるお念仏と礼拝で御回向申し上げます。

今回五重相傳をお受けいただく方をはじめ、檀信徒の皆様におかれましては是非とも御回向の申込みを頂きたく、別紙案内をご覧いただきまして、お願い申し上げます。

【春彼岸会のお知らせ】

3月に入りますと、例年の如く春彼岸会を次のように予定しております。是非皆様お揃いでお参りいただきますよう、宜しくお願いします。

- | | | | |
|--------|-------|--------|---|
| 18日(日) | 彼岸の入り | 午前10時～ | ・お彼岸回向 (施主別回向) |
| 21日(水) | 中日法要 | 午後1時より | ・お彼岸法要 午後1時00～
・お彼岸法話 午後1時45～
・解散 午後3時頃を予定しています |
| 24日(土) | 結願 | 午前10時～ | ・お彼岸回向 (施主別回向) |

【建築資金寄進のお知らせ】

今回、下記の方から建築資金の寄進を賜りました。観音堂、鐘楼の新築、山門の再建等、まだまだ資金が必要の中、御協力賜り、誠にありがとうございました。

・100万円 竹村啓司氏

